



# 平成28年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月8日

上場会社名 株式会社エスコロー・エージェント・ジャパン

上場取引所 東

コード番号 6093 URL <http://www.ea-i.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本間 英明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理本部長 (氏名) 太田 昌景

TEL 03-6703-0500

四半期報告書提出予定日 平成28年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年2月期第3四半期の連結業績(平成27年3月1日～平成27年11月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第3四半期	1,237	38.3	339	139.5	340	152.0	213	199.1
27年2月期第3四半期	894	—	141	—	134	—	71	—

(注)包括利益 28年2月期第3四半期 213百万円 (199.1%) 27年2月期第3四半期 71百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第3四半期	52.74	52.01
27年2月期第3四半期	18.53	18.08

(注)1. 平成27年2月期第1四半期から四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年2月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

2. 当社は平成27年9月1日付で普通株式1株につき5株の割合をもって株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年2月期第3四半期	1,994	1,725	85.8	419.59
27年2月期	1,711	1,509	88.2	380.85

(参考)自己資本 28年2月期第3四半期 1,710百万円 27年2月期 1,509百万円

(注)当社は平成27年9月1日付で普通株式1株につき5株の割合をもって株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり純資産」を算定しております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	45.00	45.00
28年2月期	—	0.00	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は平成27年9月1日付で普通株式1株につき5株の割合をもって株式分割を行っております。平成27年2月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

## 3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,659	37.8	402	97.2	390	98.2	237	123.3	58.59

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は平成27年9月1日付で普通株式1株につき5株の割合をもって株式分割を行っております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては当該株式分割後の発行済株式数(自己株式を除く)により算定しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年2月期3Q	4,077,500 株	27年2月期	3,963,500 株
② 期末自己株式数	28年2月期3Q	205 株	27年2月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年2月期3Q	4,040,624 株	27年2月期3Q	3,844,561 株

当社は平成27年9月1日付で普通株式1株につき5株の割合をもって株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済株式数(自己株式を含む)」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数(四半期累計)」を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
( 1 ) 経営成績に関する説明 .....	2
( 2 ) 財政状態に関する説明 .....	2
( 3 ) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2 . サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
( 1 ) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
( 2 ) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
( 3 ) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3 . 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4 . 四半期連結財務諸表 .....	4
( 1 ) 四半期連結貸借対照表 .....	4
( 2 ) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第 3 四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第 3 四半期連結累計期間 .....	6
( 3 ) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
( 継続企業の前提に関する注記 ) .....	7
( 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ) .....	7
( セグメント情報等 ) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第 3 四半期連結累計期間における我が国経済は、海外経済の減速による影響の懸念はあるものの、政府及び日本銀行による各種経済・金融政策の効果により、企業業績及び雇用・所得環境に改善がみられ、緩やかな回復基調で推移いたしました。

不動産市場においては、政府によるフラット35Sの金利優遇幅拡大、省エネ住宅ポイント制度の施行、住宅取得等資金贈与の非課税枠拡充等の住宅取得支援策を受け、住宅取得への関心が高まり、新設住宅着工戸数は持ち直しの傾向にあります。

このような状況の中、当社グループは既存取引先へのサービスの拡充、新規取引先の開拓、及びエスクロー機能の開発に注力すると共に、提供サービスの向上に取り組んでまいりました。

この結果、当第 3 四半期連結累計期間の売上高は1,237,986千円（前年同期比38.3%増）、営業利益は339,971千円（前年同期比139.5%増）、経常利益は340,012千円（前年同期比152.0%増）、四半期純利益は213,084千円（前年同期比199.1%増）となりました。

なお、当第 3 四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (エスクローサービス事業)

エスクローサービス事業では、上期に提供を開始した新サービスの利用先開拓及び利用頻度促進に向けた活動を行う一方、更なるサービスの開発について引き続き検討を行っております。

また、不動産・住宅市場における経済対策の影響が継続し、ASPサービスを中心とした各種支援サービスの利用における従量課金システムによる収入が好調に推移いたしました。

この結果、当第 3 四半期連結累計期間の売上高は499,754千円（前年同期比30.1%増）、セグメント利益は394,369千円（前年同期比27.4%増）となりました。

#### (BPO事業)

BPO事業では、既存取引先における事務合理化ニーズや新規事業開始に伴う事務体制の構築等の課題に応じたサービスの提案や、新規取引先の獲得に向けた営業活動に注力しております。

当第 3 四半期連結累計期間においては、既存取引先である金融機関からの金銭消費貸借契約等の契約締結事務（クロージング業務）の受託件数及び融資関連業務の業務受託が好調に推移し、受注量の増加と業務効率化の相乗効果により利益に寄与いたしました。

この結果、当第 3 四半期連結累計期間の売上高は738,232千円（前年同期比44.5%増）、セグメント利益は256,982千円（前年同期比127.6%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第 3 四半期連結会計期間末における資産の残高は1,994,700千円となり、前連結会計年度末と比較して283,145千円の増加となりました。

流動資産は1,793,239千円となり、前連結会計年度末と比較して181,654千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が153,959千円増加したことによるものであります。固定資産は201,460千円となり、前連結会計年度末と比較して101,491千円の増加となりました。これは主に長期預金100,000千円の預入によるものであります。

負債の残高は268,746千円となり、前連結会計年度末と比較して、66,710千円の増加となりました。

流動負債は260,969千円となり、前連結会計年度末と比較して64,845千円の増加となりました。これは主に、未払法人税等が55,563千円増加したことによるものであります。固定負債は固定リース債務のみで、残高は7,777千円であり、前連結会計年度末と比較して1,864千円の増加となりました。

純資産の残高は1,725,953千円となり、前連結会計年度末と比較して216,435千円増加となりました。これは、新株予約権の行使により、資本金が12,132千円、資本準備金が12,132千円増加したこと、新株予約権を15,164千円発行したこと、及び利益剰余金が177,413千円増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期の連結業績予想につきましては、平成27年7月10日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想を下記のとおり変更しております。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回連結業績予想(A)	1,563	328	316	195
今回連結業績予想(B)	1,659	402	390	237
増減額(B-A)	96	73	74	42
増減率(%)	6.1	22.5	23.5	21.5
(ご参考)前期実績 (平成27年2月期)	1,204	203	197	106

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,434,310	1,588,270
売掛金	151,683	158,567
その他	25,697	46,511
貸倒引当金	106	109
流動資産合計	1,611,585	1,793,239
固定資産		
有形固定資産	9,791	12,717
無形固定資産	45,942	44,128
投資その他の資産	44,234	144,614
固定資産合計	99,969	201,460
資産合計	1,711,554	1,994,700
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	36,496	47,617
未払法人税等	34,156	89,719
賞与引当金	12,316	5,744
その他	113,152	117,887
流動負債合計	196,123	260,969
固定負債	5,913	7,777
負債合計	202,036	268,746
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	280,626	292,758
資本剰余金	395,466	407,598
利益剰余金	833,425	1,010,838
自己株式	-	406
株主資本合計	1,509,518	1,710,789
新株予約権	-	15,164
純資産合計	1,509,518	1,725,953
負債純資産合計	1,711,554	1,994,700

( 2 ) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 ( 四半期連結損益計算書 )  
 ( 第 3 四半期連結累計期間 )

( 単位 : 千円 )

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成26年 3 月 1 日 至 平成26年11月30日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成27年 3 月 1 日 至 平成27年11月30日)
売上高	894,955	1,237,986
売上原価	451,813	541,960
売上総利益	443,141	696,026
販売費及び一般管理費	301,199	356,054
営業利益	141,942	339,971
営業外収益		
受取利息	207	305
受取家賃	130	130
受取手数料	-	300
助成金収入	1,750	-
その他	377	5
営業外収益合計	2,464	740
営業外費用		
支払利息	97	67
株式交付費	501	540
株式公開費用	8,863	-
その他	14	92
営業外費用合計	9,476	700
経常利益	134,930	340,012
特別損失		
減損損失	2,754	-
特別損失合計	2,754	-
税金等調整前四半期純利益	132,175	340,012
法人税、住民税及び事業税	58,855	127,822
法人税等調整額	2,072	895
法人税等合計	60,927	126,927
少数株主損益調整前四半期純利益	71,247	213,084
四半期純利益	71,247	213,084

( 四半期連結包括利益計算書 )  
 ( 第 3 四半期連結累計期間 )

( 単位 : 千円 )

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成26年 3 月 1 日 至 平成26年11月30日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成27年 3 月 1 日 至 平成27年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	71,247	213,084
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	71,247	213,084
( 内訳 )		
親会社株主に係る四半期包括利益	71,247	213,084
少数株主に係る四半期包括利益	-	-



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エスクロー サービス	BPO	計		
売上高					
外部顧客への売上高	384,100	510,855	894,955	-	894,955
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	384,100	510,855	894,955	-	894,955
セグメント利益	309,517	112,931	422,449	280,507	141,942

(注)1. セグメント利益の調整額 280,507千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社部門で生じた販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

固定資産の減損損失2,754千円は、遊休資産に係るものであり、報告セグメントに配分しておりません。

当第3四半期連結累計期間(自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エスクロー サービス	BPO	計		
売上高					
外部顧客への売上高	499,754	738,232	1,237,986	-	1,237,986
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	499,754	738,232	1,237,986	-	1,237,986
セグメント利益	394,369	256,982	651,352	311,380	339,971

(注)1. セグメント利益の調整額 311,380千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社部門で生じた販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。